

風の力とかざぐるま

4年 説明文 3番

名前

かざぐるまを手にとって走ると、羽根が、くるくると、いきおいよく回り出します。走るのをやめても、風がふけば、また回ります。目に見えない風が、どうして、かざぐるまを回すのでしょうか。

じつは、風には、物をおす力があります。風とは、空気が動いているものことです。空気は、目には見えませんが、たしかにそこにあつて、動くと、当たった物をおすのです。強い風の日に、体がおされて感じるのは、このためです。

では、なぜ、風が当たると、羽根は回るのでしょうか。よく見ると、かざぐるまの羽根は、少しななめに、ついています。もし、羽根がまっすぐだと、風は、ただ通りすぎるだけです。ところが、ななめだと、風の力が、羽根をおして、回す向きへとはたらくのです。

この風の力を、人は、大むかしから、くらしに役立ててきました。船に大きなほをはって、風の力で進む「ほかけ船」。風の力で羽根を回し、こなをひいたり、水をくみ上げたりする「風車」。そして今では、大きな羽根を回して、電気を作る「風力発電」も生まれました。

このように、目には見えない風にも、大きな力があります。その力を上手に使うくふうが、小さなかざぐるまから、電気を作るしくみまで、わたしたちの近くには、たくさんあるので

(1) この文しよは、おもに何について書かれていますか。正しいものを一つえらび、記号に○をつけましょう。

ア かざぐるまの色と作り方

イ 風の力と、そのりよのしかた

ウ 空気のあたたかさ

エ 船のいろいろな種類

(2) 強い風の日に、体がおされて感じるのは、なぜですか。文しよの言葉を使って書きましょう。

(3) かざぐるまの羽根が回るのは、羽根がどのようについているからですか。正しいものを一つえらびましょう。

ア まっすぐについているから

イ 丸くついていてから

ウ 少しななめについているから

エ うら返しについているから

(4) 風の力を、くらしに役立てているれいを、文しよから一つ書きぬきましょう。

(5) この文しよを読んで、心にのこったことや考えたことを書きましょう。

例えば

「目に見えない風に、大きな力があると知って、おどろいた。」

「羽根をななめにするだけで回るくふうが、すごいと思つた。」

風の力とかざぐるま

解答

4年 説明文 3番

名前

かざぐるまを手にとって走ると、羽根が、くるくると、いきおいよく回り出します。走るのをやめても、風がふけば、また回ります。目に見えない風が、どうして、かざぐるまを回すのでしょうか。

じつは、風には、物をおす力があります。風とは、空気が動いているものことです。空気は、目には見えませんが、たしかにそこにあつて、動くと、当たった物をおすのです。強い風の日に、体がおされて感じるのは、このためです。

では、なぜ、風が当たると、羽根は回るのでしょうか。よく見ると、かざぐるまの羽根は、少しななめに、ついています。もし、羽根がまっすぐだと、風は、ただ通りすぎるだけです。ところが、ななめだと、風の力が、羽根をおして、回す向きへとはたらくのです。

この風の力を、人は、大むかしから、くらしに役立ててきました。船に大きなほをはって、風の力で進む「ほかけ船」。風の力で羽根を回し、こなをひいたり、水をくみ上げたりする「風車」。そして今では、大きな羽根を回して、電気を作る「風力発電」も生まれました。

このように、目には見えない風にも、大きな力があります。その力を上手に使うくふうが、小さなかざぐるまから、電気を作るしくみまで、わたしたちの近くには、たくさんあるので

(1) この文しよは、おもに何について書かれていますか。正しいものを一つえらび、記号に○をつけましょう。

ア かざぐるまの色と作り方

イ 風の力と、そのりよのしかた

ウ 空気のあたたかさ

エ 船のいろいろな種類

(2) 強い風の日に、体がおされて感じるのは、なぜですか。文しよの言葉を使って書きましょう。

(例) 風は、空気が動いているもので、空気には、当たった物をおす力があるから。

(3) かざぐるまの羽根が回るのは、羽根がどのようについているからですか。正しいものを一つえらびましょう。

ア まっすぐについているから

イ 丸くついていてるから

ウ 少しななめについているから

エ うら返しについているから

(4) 風の力を、くらしに役立てているれいを、文しよから一つ書きぬきましょう。

(例) ほかけ船 (または、風車／風力発電)

(5) この文しよを読んで、心にのこったことや考えたことを書きましょう。

(例) 目に見えない風に、こんなに大きな力があるとは知らなかった。羽根をななめにするだけで回るくふうが、おもしろいと思った。

例えば

「目に見えない風に、大きな力があると知って、おどろいた。」

「羽根をななめにするだけで回るくふうが、すごいと思った。」

解答・解説 風の力とかざぐるま（4年・説明文）

問1 イ

風がかざぐるまを回すしくみと、ほかけ船・風車・風力発電など、風の力のりようが説明されています。

問2 （例）風は、空気が動いているもので、空気には、当たった物をおす力があるから。

二つ目の段落に「空気は……動くと、当たった物をおす」とあります。

問3 ウ

三つ目の段落に「羽根は、少しななめに、ついています」「ななめだと……回す向きへとはたらく」とあります。

問4 （例）ほかけ船（または、風車／風力発電）

四つ目の段落に、風の力を役立てたれいが三つ出てきます。どれか一つでよいです。

問5 （例）目に見えない風に、こんなに大きな力があるとは知らなかった。羽根をななめにするだけで回るくふうが、おもしろいと思った。

おどろいたことや気づいたことが、文しょうの内ようとつながって書けていれば正かいです。